

「心のノート」全面改訂の基本的考え方(たたき台)

- ① 学習指導要領に基づき、児童生徒が道徳的価値や規範意識について自ら考え、実際に行動できるようになることに資する内容とする。
- ② 「道徳の時間」の授業においてより活用しやすい内容・構成とする。併せて、これまでと同様、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用できるものとする。
- ③ 平成26年4月からの使用を前提に改訂を進める。

具体的な改善イメージ

- 学習指導要領に示された内容項目ごとに読み物部分とノート部分をセットにし、授業の流れに沿って活用できるようにする。
 - ・ 先人等の残した名言、国内外の偉人や著名人、伝統・文化、生命尊重等に関する読み物など、児童生徒が道徳について考えるきっかけとなる素材も盛り込む。
 - ※ これまでに文部科学省で作成してきた読み物資料等の中から良質かつ改訂方針に沿ったものを中心に取り上げる。
 - ・ 従来の「心のノート」の良い面は継承し、児童生徒が自分の感じたことや考えたことを書き込めるようにする。
 - ・ この他、これまでの学校現場からの指摘等も踏まえ、必要な点を改善する。
- 使い勝手も考慮して、分量的には現行の1.5～2倍程度を目安とする。
- 改訂後の内容を踏まえ、名称についても変更を検討する。